

高齢者用肺炎球菌感染症の予防接種を

肺炎球菌は肺炎になる原因の25〜40%を占め、肺炎だけでなく、慢性気道感染症、中耳炎、副鼻腔炎、敗血症、髄膜炎などの原因でもあります。

ワクチンの接種によって、予防が期待できますので、予防接種で肺炎球菌からの感染を防ぎましょう。

任意接種としてすでに接種した人は除く。

接種料金(自己負担額) 4300円(生活保護受給者や世帯全員が市民税非課税世帯の人は、減免制度あり)。

● 予防接種後に副反応(注射部位の腫れ、痛み、赤み、発熱など)が見られることがあります。ほとんどの場合、特に治療を必要とせず回復することが知られていますが、まれにショックやじんましん、呼吸困難などが現れることがあります。このような場合はすぐに接種した医療機関を受診してください。

接種対象者 ▼来年3月31日までに、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる人。100歳以上の人(大正8年4月1日以前に生まれた人)は7月頃に個別に通知します。

接種期間 来年3月31日(火)まで、各実施医療機関で。期間以外は任意接種(全額自己負担)となりますので、ご注意ください。

予防接種を受ける際の注意点

予防接種は体調の良い時に受けましょう。予防接種を受ける本人やその家族は、体質や体調など健康状態によく気を配り、気になることがあれば、あらかじめかかりつけの医師に相談してください。

予防接種は体調の良い時に受けましょう。予防接種を受ける本人やその家族は、体質や体調など健康状態によく気を配り、気になることがあれば、あらかじめかかりつけの医師に相談してください。



12月1日付で民生委員・児童委員を一斉改選

民生委員・児童委員、主任児童委員とは

厚生労働大臣から委嘱を受け、地域の中で支援を必要とする人への相談対応や助言、その他の援助、必要な情報提供などを行い、社会福祉の増進に努めています。

民生委員は「児童委員」も兼ねています。「主任児童委員」は、主に子どもに関する問題の相談に応じ、さまざまなサポートをします。

特に福祉(高齢者、障害のある人)などについて、

る人、子どもなどの分野で相談に応じます。地域住民が必要サービスを受けられるように関係機関との「つなぎ役」となり、地域を見守っています。現在市内では1582人が活動しています。

どのように選ばれるの

社会福祉に理解と熱意があり、地域の実情に詳しい人が地域から推薦され、その後、市の審査を経て厚生労働大臣から委嘱されます。給与は支給されません。

任期は3年。3年に1度一斉改選があります(再任可能)。

SDGs「日本一住みよいまち」づくりのために

企画調整局SDGs推進室 ☎5822・2302

SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに世界共通で取り組む開発目標です。「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」等、世界が抱える問題などを解決し、持続可能な社会を実現するために世界各国が合意した17のゴール(目標)が設定されています。

北九州市とSDGs 本市の取り組みへの評価

2017年12月 第1回「ジャパニーズSDGsアワード」特別賞(パートナーシップ賞)受賞(外務省)

2018年4月 SDGs推進に向けた世界のモデル都市にアジア地域初の選定(OECD)

2018年6月 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定(内閣府)

2018年7月 国連ハイレベル政治フォーラムで市長がアジア地域から唯一発表

SDGs未来都市・北九州市

本市は公害克服の経験という強みを生かし、環境モデル都市や環境未来都市としてSDGsを先取りする取り組みを行ってきました。これらの取り組みは、国内外から高い評価を受けています。2018年6月には、SDGs達成に向けた優れた取り組みを提案した都市として、国から「SDGs未来都市」に、本市を含む29自治体が選定されました。今後、SDGsの達成に向け、市民や企業、学校や関



▶「SDGs未来都市」の認定証



▶SDGsの17のゴール(目標)